

## 令和2年度第1回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	令和2年7月29日(水) 午後1時30分～
場 所	佐倉市役所 議会棟第2委員会室
出席者	<委員> 湯川委員長、野村委員、矢口委員 <事務局> 契約検査室 <担当課> 資産管理経営室・公園緑地課・農政課・危機管理室・人事課・治水課・道路維持課・自治人権推進課・議会事務局
<b>【議事概要】</b>	
<b>○委員長の選出について</b> 委員の互選により湯川委員を委員長に選出しました。	
<b>○委員長職務代理者の指名について</b> 委員長の指名により野村委員を委員長職務代理者としました。	
<b>○議題1 入札・契約の手続きの運用状況等について</b> 令和元年10月から令和2年3月までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告をしました。	
<b>○議題2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について</b> 令和元年10月から令和2年3月までに実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した10件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。	
<b>[主な質疑]</b>	
<b>案件① 佐倉草ぶえの丘陶芸舎トイレ改修建築工事</b> (質問) 入札参加者は1社のみとなっていますが、競争原理が働いていないのではないのでしょうか。 (回答) 多様な工種にまたがるため、多数の技術者を必要とし、複雑な工程となります。そのため、技術面で参加可能な業者が絞られ、また、利益面におけるメリットが小さくなったため、申請が少なくなったものと考えています。 (質問) 今回のような複数工種にまたがる工事の案件は、申請者が少ない傾向にあるのでしょうか。 (回答) そのように推測しています	
<b>案件② 佐倉市立井野中学校体育館大規模改修外構工事</b> (質問) 入札の参加資格申請者は3者でしたが、入札参加者は1者のみとなっており、競争原理	

が働いていないのではないのでしょうか。

(回答) 入札辞退業者に理由を確認したところ、技術者の確保が困難であること、価格が見合わないことなどを挙げられていました。また、辞退された2者は、同時期に発注した、工期が重なる別の案件を落札されたことや、昨年度の9月、10月に発生した台風や大雨による災害復旧工事を手掛けていることから、人手が不足するとの試算があったと推測しています。

(質問) 通常であれば、複数事業者が参加している内容の案件でしょうか。また、入札者は少ないという予想はしていたのでしょうか。

(回答) この案件は、同時期発注の「とび・土工・コンクリート工事」業種の中では、一番価格が低かったことや、発注時期が年末に近かったことで、入札者が少ない可能性は考えていました。

(質問) 工期中、新型コロナウイルス対策関連の対応が必要となりましたか。

(回答) 特にありませんでした。

#### 案件 ③ 佐倉市立井野中学校体育館大規模改修に伴う PC 板ワイヤー設置工事

(質問) 入札に付することが不利な理由と、契約先の具体的な選定理由を教えてください。

(回答) この工事の前に、平成31年3月から令和元年12月までの工期で、同体育館の大規模改修工事を行いました。その工事と重なる部分の工事となっていたため、大規模改修工事の施工業者と異なる事業者が請け負った場合、かし担保責任の範囲が不明瞭となるといった不利が認められたため、同一業者と随意契約を結びました。

(質問) PC 板ワイヤー設置を、大規模改修の屋上防水工事の際に行わなかったのはなぜでしょうか。

(回答) 全面改修工事の途中で、どの時点で生じたのかわからない、薄い線のようなひび割れが屋上で見つかりました。ただ、大規模改修工事の際にできたものか、その前からあったものか判別がつかなかったため、念には念を入れた安全策として、今回の工事を施工することとなりました。非常に小さな傷であったため、施工前検査では見つかりませんでした。

(質問) 耐震性など、学校利用者への安全面での問題はないのでしょうか。

(回答) 今回の工事は、ヒビの場所が天井だったために、20～30年の長期利用を視野に入れ、念には念をいれた安全策として実施しました。施工前も安全性の問題はありませんでした。

(要望) この工事は、大規模改修工事前の検査で、傷の有無を確認できていたら、発生していなかった可能性のある工事だと思います。工事前の検査精度を上げていくことが必要だと思います。

#### 案件④ 岩名運動公園高圧受変電設備更新及び幹線設備更新設計業務委託

(質問) 入札参加者が1者のみで、競争原理が機能していないのではないのでしょうか。

(回答) 昨年度は、同様の事業を手掛ける業者が、台風や大雨による災害の復旧関連事業に携わり、技術者が不足していたと聞いています。また、全国的に電線の地中化事業が行われ

ており、技術者が不足気味の傾向にあることが考えられます。

#### 案件⑤ 郷土文化伝習施設調査業務委託

(質問) 入札に適さないと判断された理由と、契約相手方の選定理由を教えてください。

(回答) 本案件の対象住宅は、木造でかや葺き屋根の歴史的建造物であることから、高度な専門的知識や技術者が必要であり、競争入札には適さないと判断しました。契約先の選定にあたっては、同様の古民家の調査や工事の実績を有していること、必要に応じて修繕計画も作成できることと、かや葺き屋根のメンテナンスや修理、葺き替えを専門とされるかや葺き職人を直接雇用していることなどを条件に検討した結果、今回の業者を選定しました。

(質問) この施設建物は、市の指定文化財でしょうか。

(回答) 現在、指定はされていません。建物やかや葺き屋根に破損などが生じていることから、まずはその修繕を第一優先として今回の事業を発注しました。今後、指定文化財に選定するかどうかを判断する際には、構造図面や状況を把握しておく必要があるため、今回の事業を実施しました。

#### 案件⑥ 令和2年度消防団員用被服の購入

(質問) 入札参加者が1者であり、落札率が高いのはなぜですか。

(回答) 今回発注した被服の仕様が旧基準となっていたため、需要が低く、取扱業者が少なく、参加者が少なかったと推測しています。また、受注生産となるため、落札率が高かったものと考えています。

(質問) 今回の購入被服の受領対象は何人ですか。また、今後、新基準に変えていく予定ですか。

(回答) 消防団員は計805人で、今回の購入被服の受け取り対象者は40人でした。新基準被服の導入については、消防団員の意見を聞きながら検討してまいります。

#### 案件⑦ 会計年度任用職員管理システムサービス利用

(質問) 入札参加者が1者であり、落札率が高いのはなぜですか。

(回答) 今回のシステムサービスの利用は、法律改正に伴い、非正規職員が会計年度任用職員となり、雇用形態などが変更となったことによるものです。同様の理由で、全国の自治体で一斉に同様の発注が行われたため、入札参加者が少なく、落札率も高くなったものと考えています。

(質問) 今回のシステムを利用するまでは、どのようにされておりましたか。現在使用しているシステムを改修して使うことは検討されたのでしょうか。

(回答) 情報システム課の職員が作成したシステムを利用していましたが、今後のメンテナンスなども含めて検討した結果、外部調達することとしました。

(質問) 正規職員の管理システムは、別のシステムを利用されていますか。

(回答) 別のシステムを利用しています。また、そのシステム提供事業者からの入札はありませんでした。

(質問) 正規職員と非正規職員で別のシステムを使用することで不都合や不利益はありますか。

(回答) 管理上の問題はありますが、将来的には、効率化を図るため、正規職員のシステムの委託期間が終わるタイミングで、一斉に新しいシステムにしたいと考えています。

#### 案件⑧ 令和2年度高崎川右・左岸排水ポンプ場管理業務委託

(質問) 落札率が低くなっていますが、事業完成度に問題はないでしょうか。

(回答) 前年度と比較しますと、報告書などの成果品に関して、完成度が低くなっています。

(質問) 落札率が37.5%と低くなった理由として推定できることはありますか。また、価格と完成度の相関関係はどのように考えていますか。

(回答) 事業を何人体制で実施するかなどの人件費の試算によって、価格が変動すると考えています。また、同様の業務の実施経験がある場合、事業効率化が図れ、初めて実施する業者よりも低価格で実施できる業者もいます。ただ、今年度、成果品に誤りが多い点については、人手が足りないことも理由の一つではないかと考えています。

(質問) この落札業者は、この事業についての経験はありますか。

(回答) 別の排水ポンプ施設で、点検管理業務を請け負った経験をお持ちですが、このポンプ場では初めてです。別施設の完成度は、今回よりも高いものでした。

#### 案件⑨ 令和元年度側溝汚泥処分業務委託

(質問) 入札不適格性の具体的内容と契約相手方として選定した理由はなんでしょうか。

(回答) この事業で処分する道路側溝などの清掃で発生した汚泥は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によって発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で、放射能濃度が高いという性質を有するため、業務を履行できる中間処理施設または最終処分施設を持つ事業者に限られることが、入札不適格とした理由となります。この条件を満たす事業者として、2者に見積もりを依頼したところ、1者は辞退され、見積もりを提出した1者を、契約相手方として選定いたしました。契約にあたっては、産業廃棄物の委託処理における排出事業者責任の明確化と、不法投棄の未然防止を目的として実施されているマニフェスト制度にのっとり、1トン当たりの単価で契約しました。

(質問) この事業は、今後も継続の予定ですか。

(回答) 側溝汚泥は経常的にたまるため、今後も事業は続く予定です。ただ、一時的に仮置きしていた汚泥約1400トンを前年度と今年度で集中的に処分したため、処分量は多くなっています。

#### 案件⑩ 令和2年度佐倉市市民公益活動補償制度保険契約

(質問) 入札に適さないと判断された理由と、契約相手方の選定理由を教えてください。

(回答) 令和2年3月に一般競争入札に付しましたが、入札不調となりました。その後、複数事業者ヒアリングをした結果、過去に保険金の支払い実績が多かったため、前年と同様の補償内容では、予算の範囲内での受注は不可能であることが判明しました。一方、事業の本質上、4月1日から開始する必要があり、再度入札に付した場合、契約締結の機会

を逸失するおそれがあることから、入札には適さないと判断しました。契約相手方は、補償内容の変更により、予定価格内での受注が可能であることが判明した事業者としました。

(質問) 補償内容を変更することで、公益活動に参加する市民の方にとって不利益になることはないでしょうか。

(回答) 補償内容の変更により、事故発生時の通院一日当たりの補償が3,000円から1,500円に、死亡時の見舞金が200万円から100万円に変更となりましたことは、公益活動に参加する市民の方に通知をしています。この保険は、主に私有地内で活動されている自治体活動を、公益活動として補償するために行っています。

(質問) この保険契約は、毎年、単年度契約を行っているものですか。また、過去に保険金の支払い実績が多かったとのことでしたが、具体的にはどの程度あったのでしょうか。

(回答) 契約は、毎年、単年度で契約を結んでいます。過去の支払い実績としましては、令和元年度は、台風や大雨後の清掃活動の中で、多数の負傷事故が発生しています。

### 議題3. プロポーザル方式による受注者の選定結果等について

令和元年10月から令和2年3月までに実施したプロポーザル方式により業者選定をした1件の案件について、事業担当課職員による選定結果報告及び質疑応答を行いました。

#### ① 佐倉市役所議場設備更新工事

(質問) 電子採決システムの導入は、県内の他市町村と比べて早いほうになるのでしょうか。

(回答) 県内の37市町のうち、導入済みは8市のみとなっていましたので、県内では早いほうになると思います。

(質問) プロポーザル方式実施理由の一つとして、議場の形状が特殊であるとのことでしたが、一般的に、議場というものが特殊な形状なのでしょうか。それとも、佐倉市の議場が特殊なのでしょうか。

(回答) 他市の議場は、四角形がほとんどだと思います。佐倉市の議場とが特殊で、天井が斜めで高く、形が扇形になっています。また、場内に段差があり、通常にない形状です。